

奄美地域向け秋寒小ギクの有望品種「奄美イエローシー」	分類	普及情報
〔要約〕奄美地域の露地および平張施設電照12～3月出し栽培に適応性の高い秋寒小ギクの「奄美イエローシー」を育成した。		
徳之島支場園芸土壌研究室	連絡先	0997-86-2004

〔背景・ねらい〕

奄美地域の秋寒小ギクは冬春期に露地電照栽培で生産されている。民間では、毎年多くの新品種が育成されているが、奄美地域で栽培した場合、草丈の伸長不良や開花遅延などの問題が多く、適応性のあるものが少ない。そこで、奄美地域の気象条件に適応性の高い秋寒小ギクの優良品種を育成する。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 露地栽培，平張施設栽培に適応性の高い秋寒小ギク「奄美イエローシー（系統名 15-105-1）」を育成した。
- 2 花は黄に緑心，花径は4 cm，花数は8～14輪，到花日数は59～63日である（表1）。
- 3 電照12月，2月および3月出し栽培において安定した草姿や草丈伸長性を有し，対照品種「金秀」に比べ，株当たりの仕立て本数が3本でも，ボリュームがある。また，葉色が濃く，光沢がある（表1，2，図1，2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 普及対象地域は奄美地域の露地および平張施設によるキク栽培地域である。

〔具体的なデータ〕

表1 露地電照12月，2月，3月出しにおける生育開花特性（徳之島支場）

作型	品種	花色	収穫期 (月/日)	到花 日数 (日)	草丈		80cm 切花重 (g)	花数		フォー メー ション	季咲き 開花期 (月/日)	備考
					消灯時 (cm)	収穫時 (cm)		1次 (個)	2次 (個)			
12月出し	奄美イエローシー	黄	12/20	59	28	73	59	11	3	B	12/8	
	金秀	黄	12/11	50	22	58	40	12	1	B	11/23	対照品種
	新年の宝	黄	1/26	96	11	51	69	9	30	D	1/24	対照品種
2月出し	奄美イエローシー	黄	2/13	63	37	88	61	11	2	B		
	金秀	黄	2/7	57	33	74	49	12	0	B		対照品種
	新年の宝	黄	2/26	75	22	64	58	15	0	B		対照品種
3月出し	奄美イエローシー	黄	3/19	62	44	87	52	8	0	B		
	金秀	黄	3/17	60	27	61	52	11	0	B		対照品種
	新年の宝	黄	3/29	72	20	59	49	14	0	B～C		対照品種

- 注) 1. 収穫期：全体の50%が収穫適期に達した日
 2. 到花日数：消灯から収穫期までの日数
 3. 80cm切花重：草丈が80cm未満の切花は全重をデータに示した
 4. 花数：膜切れした花数
 5. 耕種概要

作型	定植	摘心	消灯
12月出し	8月29日	9月11日	10月22日
2月出し	10月16日	10月29日	12月13日
3月出し	11月7日	11月22日	1月17日

栽植様式 畦幅135cm，株間15cm，条間15-30-15cm，4条植え，2.5本/株仕立て

表2 平張施設電照12～1月出しにおける生育開花特性（喜界町）

品種	花色	収穫期 (月/日)	到花 日数 (日)	草丈		80cm 切花重 (g)	フォー メー ション	備考
				消灯時 (cm)	収穫時 (cm)			
奄美イエローシー	黄	1/3	56	53	102	72	B	
金秀	黄	12/22	44	55	92	30	B	対照品種

注) 耕種概要；定植 9月6日，摘心 9月13日，消灯 11月8日



図1 奄美イエローシー（15-105-1）

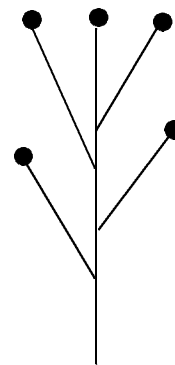


図2 フォーメーションB

〔その他〕

研究課題名：奄美地域の露地ギク新品種育成試験

予算区分：県単

研究機関：平成19年度（平成15～19年度）

発表論文等：平成19年度 農業開発総合センター徳之島支場花き試験成績書